



# SDGsの達成に貢献する 名古屋高速道路公社の取り組み



名古屋高速道路公社では、経営理念において、いつでも「安全」「安心」「快適」な道路サービスを提供し、地域社会を支えることを目指すと掲げ、事業を行っています。

SDGsは、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、その目指すところは、名古屋高速道路公社の経営理念と重なり合うものであります。

このことから、名古屋高速道路公社では、経営理念を具体化し実現するため、取り組みに注力している「中期経営計画（2022-2024）」とSDGsの各ゴールとのつながりを明確にし、計画に定める施策を推進することを通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

また、社内に「SDGs推進チーム会議」を設置し、SDGsに関する理解・浸透及び意識向上を図るとともに、SDGsの達成に貢献する取り組みを着実に進めます。さらに、これからもSDGsの達成に向けて、積極的に取り組み内容の充実や拡大に努めていきます。

## 経営理念

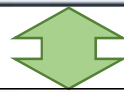
### 基本理念

いつでも「安全」「安心」「快適」な道路サービスを提供し、  
地域社会を支える名古屋高速を目指します。

### 基本方針

- I 都市交通施設としての役割を果たし、元気な「名古屋都市圏」づくりに貢献します。
- II お客様を第一に考え、安全・安心・快適な利用環境を提供します。
- III 効率的で透明な事業運営に努め、創意工夫と自己研鑽で常に進化を続けます。

## 中期経営計画（2022-2024）



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### ・SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

（外務省HPより）

# 中期経営計画（2022-2024）施策一覧

第1章 使いやすさ（道路ネットワークの充実・有効活用）				
項目	施策	目標 (取組内容)	2024年度※	取組項目に 関連するSDGs
1	①新たな出入口・渡り線の整備推進	着実な事業の推進		
	②高速道路ネットワークの更なる利便性の向上	名岐道路事業化に向けた取組み等 既存ネットワークの更なる利便性向上		
2	③料金施策の推進	お客様がより利用しやすい料金体系の実現		
第2章 確かさ（安全・安心の取組）				
項目	施策	目標 (取組内容)	2024年度※	取組項目に 関連するSDGs
1	④交通安全対策の実施	目標1 総事故件数	730件	
		目標2 死亡事故件数	0件	
		目標3 逆走・誤進入による事故件数	0件	
2	⑤逆走・誤進入の防止	逆走・誤進入による事故件数	0件	
		⑥交通安全啓発活動の実施	JAFと共同開催するなど、新たな啓発活動の実施	
		⑦大規模修繕工事の着実な推進	目標4 大規模修繕完了率 ※大規模修繕完了率：大規模修繕対象箇所（37.9km）のうち、修繕が完了した延長の割合	
2	⑧計画的な維持補修	構造物を健全な状態に保つために、計画的に維持補修工事を実施		
		⑨施設の計画的な更新	定期点検を着実に実施し、補修と更新を計画的に実施	
		⑩点検計画に基づく着実な点検の実施	計画的な点検の実施	
4	⑪リフレッシュ工事の着実な実施	交通規制を減らす また、新技術の試行		
4	⑫法令違反車両の取り締まりの強化・指導の実施	目標5 突知照警等との 合同取り締まり回数	8回	
5	⑬実践的な訓練による災害対応力の確保	各種訓練の実施		
5	⑭業務継続体制の確立	非常時における社内の業務継続体制の確立及びBOPによる業務体制の維持		
第3章 走りやすさ（快適なドライブ環境の追求）				
項目	施策	目標 (取組内容)	2024年度	取組項目に 関連するSDGs
1	⑮交通事故発生時の迅速な対応	目標6 要請から現場到着までの民間レッカー車との時間差	50分	
2	⑯降雪・積雪への対策	目標7 本線の通行止め解除時間	24時間以内	
		⑰雪水作業の効率化の推進	雪水作業の効率化	
3	⑱快適なドライブ環境のための道路交通情報提供の充実	ニーズ及び課題整理・検討		
4	⑲交通集中による渋滞への対策	目標8 渋滞対策実施箇所	3箇所 (累計)	
5	⑳お客様ニーズに合ったサービスの提供	目標9 総合満足度	3.80	

第4章 誠実さ（社会的責任の遂行）				
項目	施策	目標 (取組内容)	2024年度※	取組項目に 関連するSDGs
1	①脱炭素社会の実現に向けた環境保全の取り組み	目標10 高速道路の維持管理等に係るCO2排出量の削減	2018年度比19.5%減	
		②土木工事における週休2日制の実施	土木工事において週休2日制を実施	
2	②工事の品質確保	構造物に応じた材料や施工方法を定めた基準・要領を制定（改定も含む）		
		③品質確保に向けた契約制度の改善	総合評価落札方式制度の改善及び、低入札対策の強化	
3	④事業運営の信頼性向上	④工事事故防止に向けた安全管理の推進	安全管理研修会開催など、安全管理を確実に推進	
		⑤コンプライアンス等の意識の徹底	コンプライアンス研修及びハラスメント防止研修を実施	
4	⑥地域・社会への貢献	目標11 地域交流イベント企画回数	10回	
		⑦新しいモビリティ社会への貢献	情報収集	
5	⑧積極的な情報発信	目標12 ホームページアクセス数	33万	
		⑨自治体や大学等への技術提供と情報発信	技術力を自治体へ提供 大学等での出前講座を実施	
第5章 堅実さ（経営基盤の確立）				
項目	施策	目標 (取組内容)	2024年度※	取組項目に 関連するSDGs
1	①財務基盤の強化	目標13 個別投資家訪問数	50件以上	
		目標14 新規投資表明件数	5件以上	
2	②デジタル技術の活用・経営の合理化	③効率的な維持管理の実施	維持管理効率化のためのプラットフォーム構築及び試行導入	
		④現場施工等への積極的な活用	BIM/CIMの適用ガイドラインを策定	
3	⑤組織基盤の強化・働き方改革の推進	⑥人事・会計システム等の見直しによる業務効率化	システム及びデバイス間の連携強化による、業務の効率化	
		⑦業務を推進するための組織づくり	人的資源を最大限有効活用できる、機動的かつ効率的な組織づくり	
4	⑧確実な事業推進	目標15 公社業務に関連した資格取得者数	5名	
		目標16 年次休暇の平均取得日数	16日	
4	⑨重要施策間の連携強化	事業間調整会議による工程等の共有及び一体的な調整・課題解決		
		⑩経営企画の事業評価	長期計画に影響を及ぼす項目の改善・見直し	